

吉良村政 スタート



就任のごあいさつ

南阿蘇村長 吉良 清一

南阿蘇村の新村長に就任した吉良清一です。村民の皆さまに一言ごあいさつを申し上げます。

その前に、平成28年4月の熊本地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さま、そして今なおご不自由な生活を送っておられる多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

また、各地各方面から救援に駆けつけてくださいました各種団体の皆さま、数多くのボランティアの皆さま、また義援金をいただいた多くの方々に対しまして、村を代表してお礼申し上げます。

さて、先の選挙では多くの皆さまからご支援をいただき、心からお礼を申し上げますとともに、皆さまのご期待に沿えるよう、初心を忘れることなく、謙虚に村政に取り組んでいく所存であります。

震災で村の状況は一変し、壊滅的な被害を受けた地区や、飲料水さえ来ない地域もあります。一刻も早く元の生活に戻れますよう、住宅や生活道路の復旧を最優先に急がなければなりません。

観光産業も大きな打撃を受けております。国道57号や国道325号、南阿蘇鉄道、阿蘇登山道の早期開通を図るためにも、国や県に積極的に働きかけてまいります。

農業の振興はもとより、子育て支援や高齢者福祉の充実、庁舎や学校の跡地利用など、難題は山積しておりますが、村の活性化と発展を心から願う多くの皆さまから

のご協力がありますので、必ずやこの難局を乗り越えれると確信いたしております。

さらに、義援金に関する情報を公表するなど、積極的に情報公開を推進し、信頼される村づくり、住民と行政が一体となった村づくりに取り組んでまいります。

第16代アメリカ合衆国大統領エイブラハム・リンカーンの言葉の通り、「村民の村民による村民のための政治」を実践し、「生まれてよかった」「住んで良かった」「来てよかった」と言われる村づくりに取り組んでまいります。

子どもたちが元気に学校に通い、高齢者が温泉でゆつくりとくつろぐ、そんなのどかで穏やかな村づくりのために、全身全霊で邁進することを約束いたします。

最後に、村民の皆さまのご多幸とご健康をお祈りし、就任のごあいさつとさせていただきます。

2月26日に行われた南阿蘇村長選挙で初当選を果たした吉良村長。今後4年間村政の舵取り役を任されました。2月27日、村選挙管理委員会から当選証書が手渡され、3月6日に初登庁。吉良村政がスタートしました。各庁舎で就任式が行われ、久木野庁舎では、「今もなお不自由な生活を送っている方がたくさんおられる。皆さんがまた幸せに暮らせるように、早く元に戻るよう一緒に努力していきたい」と就任のあいさつをしました。



初登庁で職員から花束を受け取る吉良村長



就任あいさつをする吉良村長(久木野庁舎)

吉良 清一(きら せいいち)

昭和30年5月24日旧白水村両併生まれ(61歳)。昭和54年大阪府立大学農学部卒業、同年県内の企業に勤務、昭和57年農業に専念。平成15年旧白水村議会議員当選村環境保全農業推進協議会会長